

## 西脇市消費生活センター

☎22-3111 (防災安全課内)

No.161

賃貸マンション入退去時のトラブルにご注意ください

春は入学や卒業、就職、転職などで引越される方が増えます。トラブルに巻き込まれないように契約時から気をつけましょう。

◆**契約前** 入居時、退去時に必要な費用(敷金・礼金・更新料等)や、契約内容、原状回復についての説明を受けましょう。「特約」はトラブルが多いので特にご注意ください。

◆**入居前** 部屋の状況を貸主側の立会いの下で確認しましょう。入居時点での部屋の傷や汚れなどは、写真撮影などで記録しましょう。

◆**入居中** 借主は善良な管理者として部屋を使用する責任があります。部屋に不具合が発生した時は、貸主側に連絡・相談しましょう。

◆**退去時** 貸主側の立会いの下、部屋の状況を確認しましょう。念のために部屋の状況を写真撮影しておきましょう。原状回復費用を請求されたときは、費用の内訳や算出方法について説明を受けましょう。

※原状回復は入居時の状態に部屋を戻すことではありません。原則として経年変化や通常の生活による損耗は、貸主側の負担とされています(国土交通省の『原状回復をめぐるトラブルとガイドライン』参照)。

## おもてなしコラム 34

西脇市では、「日本のへそ西脇地域食材でおもてなし条例」を施行。豊饒の地で生産された地域食材や地場産業などの魅力に認識を深め、郷土に誇りと愛着を持って来訪者をもてなすことで、本市のさらなるにぎわいの創出を目指しています。

■問合せ 農林振興課(市役所内線 322)



年末感謝祭でサンタクロースからプレゼントをもらう来店者

### 西脇市の農業のさらなる発展を目指して

北はりま農産物直売所(北はりま旬菜館)では、「地元で収穫された安全で安心な野菜を消費者へ届けたい。西脇市の農業を盛り上げたい」との思いから、生産者らが自らさまざまなイベントを企画・運営しています。

昨年末には、西脇市地方卸売市場と合同で、クリスマス・年末感謝祭や、歳末大売り出しを開催し、たくさんのお客さまに来店いただきました。また、毎年市内外のさまざまな催しに積極的に参加し、北はりま旬菜館をPRしてきました。その結果、北はりま旬菜館の来店者数と売上額は毎年増えており、卸売市場全体が活気に溢れ、空き店舗が減少するなどの相乗効果が生まれています。

しかし北はりま旬菜館では、農家の後継者不足による商品供給面での不安や、市外への情報発信の不足など、まだまだ多くの課題があります。今後も「お客さまに喜ばれる商品・サービスの充実」や、「情報発信力の強化」などに取り組み、北はりま旬菜館の成長と生産者の育成を促進し、西脇市の農業のさらなる発展を目指します。



▲ピーターパンでパンの販売・レジ業務体験

◆**その他**  
 ・活動中は弁当を持参します。  
 ・トライやるワッペン(名札)を付けて活動します。  
 ・活動経費は、申請に基づき各学校からお支払いします。  
 ◆**昨年ご協力いただいた事業所の感想**  
 ・体験活動でさまざまな年代の方と関わり、お互いを知るといふ機会はとても貴重なものだと思います。  
 ・一生懸命取り組んでいる中



▲林商会で自転車の整備体験

◆**申込み・問合せ**  
 ・学校教育課  
 (市役所内線 520)  
 ・西脇中学校  
 (☎ 22-2725)  
 ・西脇東中学校  
 (☎ 22-3905)  
 ・西脇南中学校  
 (☎ 22-3553)  
 ・黒田庄中学校  
 (☎ 28-2072)

# 好きです!! にしわき わたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる  
一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり—

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

## 平成31年度「トライやる・ウィーク」 受け入れ事業所を募集します

「トライやる・ウィーク」は、中学2年生が地域のさまざまな体験活動を通して、感謝の心を育んだり、自律性を高めたりして、生きる力の育成を図る活動です。地域や事業所の皆さんにご協力いただき、今年で22回目を迎えます。

「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に、働くことの尊さや厳しさ、そして、お客さまや地域の皆さんと触れ合うことの喜びや充実感などを教えていただける事業所を募集します。

中学生を受け入れていただける事業所がありましたら、下記へお問い合わせください。  
 ◆**事業実施期間** 6月3日(月)~7日(金) 午前9時~午後3時

◆**その他**  
 ・活動中は弁当を持参します。  
 ・トライやるワッペン(名札)を付けて活動します。  
 ・活動経費は、申請に基づき各学校からお支払いします。  
 ◆**昨年ご協力いただいた事業所の感想**  
 ・体験活動でさまざまな年代の方と関わり、お互いを知るといふ機会はとても貴重なものだと思います。  
 ・一生懸命取り組んでいる中

◆**申込み・問合せ**  
 ・学校教育課  
 (市役所内線 520)  
 ・西脇中学校  
 (☎ 22-2725)  
 ・西脇東中学校  
 (☎ 22-3905)  
 ・西脇南中学校  
 (☎ 22-3553)  
 ・黒田庄中学校  
 (☎ 28-2072)

## 心のスケッチ

119

## 人権教育課コラム

### 旅で感じた人のぬくもり

今から20年前、私がまだ20代だったころ、「子どもの頃からの夢」を実現しようと、ある旅の計画をしました。  
 「50cc原付バイクで行く世界一周ひとり旅」…。  
 自分が知らないことを実際に見て経験したいという好奇心と、自分を成長させたいという願いを抱き、北・中・南米、アフリカ、中東、アジアの国々を訪れました。  
 オオカミの遠吠えにおびえながらテントで野宿をしたアラスカ。デモによる道路封鎖で、町から出られず一ヶ月間軟禁状態になったボリビア。50度を越える気温の中、ナイル川の水を飲みながら生き延びた砂漠の国スーダン。イスラム教とアジア、ヨーロッパの文化が混じり合う多様性に驚いたシリア。日本で生活してはできない、さまざまな経験ができました。  
 中でも心に残っている経験は、初めて訪れる町で出会う人々の温かさや寛かさでした。町を訪れると、大抵現地の人たちから声を掛けられ、私の周りに人だかりができました。  
 「どこから来た」「何をしている」など、さまざまな質問に答えていると、「家に泊まっていいか」「ぜひ家族に会わせたい」と、誘いを受ける機会がたくさんありました。どのくらい家庭に宿泊したのか思い出してみると、40以上の国で50を超える家庭を訪れていました。言葉もままならない私の話を傾け、「違い」を良さと捉え、遠い日本から来た私の存在をどの町でも丸ごと受け入れてもらえたことは、今思い出しても大きな喜びです。  
 最近、西脇市に就労や観光で訪れる外国の方と出会う機会が多くなりました。そのたびに思い出すのは、「家族に会わせたい」「あなたの国のことを教えてほしい」と、過去に旅先で声を掛けてくれた「違い」に寛容な価値観を持つ人たちのことです。自分が他国で経験できた人の温かさや、西脇市を訪れる外国の方にも感じてもらうために、私たちに何ができるのか考えるこの頃です。(人権教育課)

## 市長からの手紙

西脇を元気に!!

61



西脇市長 片山象三

### 横尾忠則 西脇幻想展が開幕

ご存じでしょうか。1月6日から放送が始まったNHK大河ドラマ「いだてん〜東京オリムピック噺〜」の題字とポスターは、西脇市の名誉市民である世界的美術家・横尾忠則さんが制作されたものです。

本市ではその横尾さんによる特別展「横尾忠則 西脇幻想展」が、同日から岡之山美術館で開催されています。岡之山美術館での横尾さんの個



式典では横尾さんが手掛けたNHK大河ドラマのポスターを紹介

展開催は6年ぶり、多くの皆さんが待ち望んでいたのではないのでしょうか。  
 今回の特別展では、ふるさと西脇の過去と現在と未来についての思いを基に描かれた多くの新作が展示されています。多可町の手すき和紙「杉原紙」を用いた新作のほか、横尾さんが10代のころにデザインした市内商店の包装紙や、これまで制作したポスターなどを展示。さらに、横尾さんならではのユーモアたっぷりな作品が数多く展示されています。美術館全体から、横尾さんの「ふるさと西脇」を思う気持ちがストレートに伝わってきます。西脇市岡之山美術館でしか感じるこのできない特別な空間となっています。世界の横尾芸術に触れる絶好の機会です。市民の皆さんもぜひご覧ください。  
 このまちに住んでいることを誇れる「西脇市」をともに創っていきましょう。